

下記の①～⑧までは、3歳児の運動  
ところの成長となります。

## 3 歳 の こ ろ

①

つかまらないで階段をのぼり  
おりする。



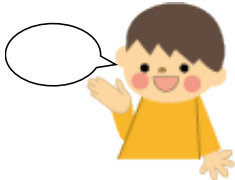
②

三輪車のペダルをふめる



③

名前をきくと  
姓名をいう



④

クレヨンや鉛筆で  
丸を書く



⑤

電話ごっこでおたが  
いに会話ができる



⑥

自分で洋服を  
ぬいだり着た  
りしたがる



⑦

ままごと、電車  
ごっこなどのあそ  
び



## しつけ

- ・ こどもが社会の中で生きていくために必要なよい習慣が身につくように働きかけることです。
- ・ こどもをとりまく父母、兄弟、姉妹、近隣の人々等のこどもを見守りながら育てる態度が大切です。
- ・ 良いことはほめて、悪いことや危険なことは注意する一貫したしつけをしましょう。

## トイレ トレーニング



- ・ 起床時、食事の前後、お風呂前、寝る前など生活の区切りにトイレにさそってみましょう。
- ・ 補助便座やトレーニングパンツなどを利用したり、トイレの中にキャラクターシールを貼るなど、楽しい雰囲気を作るのも効果的です。
- ・ できたら、思いっきりほめてあげましょう。

## あそび

- ・ こどもは遊ぶことにより、知識を身につけていきます(ルールを守る、順番をまつ、ゆずり合うなど)
- ・ 3歳くらいになると、こどもの心にもだちと一緒に遊びたいという社会的欲求がめばえます。ともだちは、集団生活に必要な知識を与える力となってくれます。

⑧

少しずつ  
はしが使える  
ようになる



## おもちゃ



- ・ 単純なおもちゃが想像力をのばします。
- ・ 例えば積み木、クレヨン、ねんど、折り紙、有り合わせの食器道具、人形や動物のぬいぐるみ、ボールなどがあります。

## メディア機器



- ・ 親も子どもメディア機器接触時間のコントロールが大事です。
- ・ 幼児の成長には実体験が大切なので、読み聞かせや外遊びをたくさん行い、親子の会話や体験を共有する時間をもちましましょう。

## 衣類の着脱



- ・ 洋服は着たり、ぬいだりしやすいもの(ボタンホールの大きめのものなど)を選び、時間がかかっても、まずは一人でさせてみましょう。
- ・ できたときは、ほめましょう。

## ことば



- ・ 3歳くらいになると、ことばの数も急に増え、「ママ、おなかすいたから、ごはんたべる」などといったことばをしゃべるようになります。
- ・ 「あれなーに」「これなーに」という質問をしきりにすることがあると思いますが、お子さんの「知りたい」に丁寧につきあうことで、「言葉の世界が広がります。
- ・ こどもとのやりとりを楽しみましょう。

## 事故の予防



- ・ 交通事故、転落、横転事故、やけど、水の事故、誤飲に注意してください。
- ・ 環境を整え、目の届くところで遊ばせましょう。

## 発音発達



- ・ 聞き取りにくい発音がある等の悩みがあり、年中クラスになっても継続している場合、また園ではできるが、家ではいうことを聞かず、かんしゃくで手がつけられない状況等があり困っている状況が続いている場合など、気になることがあれば、一度子ども家庭課までご相談ください。

## 絵本



- ・ 絵本は想像力を高めると言われています。絵本の読み聞かせは言葉の発達を促すだけでなく、スキンシップもはかれ、こどもの想像力を豊かにします。
- ・ 読み聞かせをする時には膝の上に座らせたり、会話をかわしたりして、ゆったりとした雰囲気を楽しんでください。

作成日：令和8年5月

発行：宜野湾市子ども家庭課 すこやか親子係

電話番号：098-893-4121

(平日8：30～17：15(12：00～13：00除く))